

## 日本専門医機構認定麻酔科専門医新規申請について

日本専門医機構認定麻酔科専門医(以下専門医)は、「日本専門医機構麻酔科専門医事前審査に関する内規」に則って審査されます。

申請はWebから必要事項を入力後、必要書類がこちらに到着した時点で完了となります。必要書類は必ず郵送してください。

下記の申請要領に従い手続きを進めてください。Web入力、書類到着を確認した後、審査を開始します。Webから必要事項を入力されただけでは、申請されたことになりませんので、ご注意ください。また、一旦振り込まれた審査料はいかなる理由があっても返還されません。審査料を支払われたとしても、必要書類が期日までに届かない場合は、申請無効となり、審査料も返還されませんのでご注意ください。

### 申請要領

#### 申請の受付期間

毎年5月1日～6月30日(予定)

※申請締切日にWeb入力を行った場合の必要書類郵送受付の締切りは10日後(消印有効)とします。この期間までに必要書類を提出しない場合は申請無効となり、支払い済みの審査料は返還されませんのでご注意ください。また、パソコン環境等を理由とした締切り後の申請についても特別措置はございません。ご注意ください。※機構からの通知によって、変更となる可能性があります。

#### 申請資格

(1) 医師臨床研修終了後、申請する年の3月31日までに満3年以上の機構が定める麻酔科専門医研修プログラムを修了すること。また、麻酔科専門医研修プログラムで修練している間は、麻酔科関連業務に専従していること。(※注1)(※注2)

**※ただし2017年度開始の研修プログラムは学会認定プログラムのため、(1)の要件を(A)とする。**

**(A) 医師臨床研修終了後、申請する年の3月31日までに満4年以上の学会が定める麻酔科専門医研修プログラムを修了すること。また、麻酔科専門医研修プログラムで修練している間は、麻酔科関連業務に専従していること。**

(2) 申請する年の日本麻酔科学会(以下、学会)の会費を完納していること

(3) 申請する年の3月31日までに600例以上の麻酔科管理症例(局所麻酔を含む)を担当医として経験し、下記の経験症例数を満たすこと。医師臨床研修期間中に研修プログラム所属機関で実施した症例についても経験症例として含めることができる。なお、小児と心臓については1症例の担当医を2人までとするが、その他の麻酔症例では1症例の担当を主たる担当医1名とする。また、1症例を重複して申請することは認めない。(※注3)

- ・小児(6歳未満)の麻酔 25 症例
- ・帝王切開術の麻酔 10 症例
- ・心臓血管手術の麻酔 25 症例 (※注4)

(胸部大動脈手術を含む)

・胸部外科手術の麻酔 25 症例

・脳神経外科の麻酔 25 症例

(4) 申請する年の 5 年前の 4 月 1 日から申請する年の 3 月 31 日までの間に、所定の実績(10 単位)があること

(5) 申請する年の 5 年前の 4 月 1 日から申請する年の 3 月 31 日までの間に、AHA-ACLS、または AHA-PALS プロバイダーコースを受講し、実技試験申請時にプロバイダーカードを取得していること

\* 注 1...専従とは、以下に掲げる業務に週 3 日以上携わっていることをいい、業務に従事する施設は複数にわたることができます。

ただし、基礎的研究のみ従事している期間は除きます。

(1) 周術期における麻酔管理に関する臨床または研究

(2) 疼痛管理に関する臨床または研究

(3) 集中治療部、救急施設等における重症患者の管理に関する臨床または研究

(4) 中央手術部業務

※研究(国内・海外留学)に携わっている場合は、研究内容の説明(任意様式)・在籍証明書・研究業績(論文のコピー等)を提出してください。

\* 注 2...出産あるいは疾病などに伴う6ヶ月以内の休止は 1 回までは研修期間として認める。

\* 注 3...研修プログラム管理委員会が認めた認定病院において卒後臨床研修期間の 2 年の間に麻酔科で経験した症例のうち、専門研修指導医が指導した症例に限っては、専門研修の経験症例数として数えることができる。

\* 注 4...2019 年度以降に研修プログラムを開始した専攻医について、心臓血管手術の麻酔症例は 25 例のうち人工心肺装置を使用した心臓大血管手術および心拍動下冠動脈バイパス術(OPCAB)の麻酔症例を必ず 15 例以上経験することとし、その他の心臓大血管手術症例を含めることができます。

## 所定の研究実績について

単位については、日本専門医機構認定の単位表を参照して下さい。

1) 学術集会等への参加による実績.....5 単位

①日本麻酔科学会年次学術集会への参加による実績を 1 回は含まなければなりません。

※日本麻酔科学会年次学術集会 3 単位 日本麻酔科学会支部学術集会 2 単位で算定できます。

2) 学術発表による実績.....2 単位

- ①学術発表による実績には、『日本麻酔科学会が主催する学術集会での発表』あるいは『「Journal of Anesthesia」または「麻酔」への発表』のいずれかによる実績単位1単位以上の実績を含まなければなりません。
- ・不足する単位については、単位表に掲げる学術集会や学術出版物への発表による実績を加算して下さい。
- ②認められた学術集会等での発表に関して、筆頭演者と第2共同演者のみ同じ単位数が算定されます。単位数は単位表をご確認ください。
- ※第2共同演者：筆頭著者の隣の演者（抄録で筆頭著者の次に記載の演者）  
第3共同演者以降の単位は算定できません。

### 3) 専門医共通講習による実績.....3 単位

- ①医療安全講習会，感染対策講習会，医療倫理講習会をそれぞれ1単位ずつ受講ください。

## 申請手順

Web 入カマニュアルをご確認ください。（作成中）

- \* Web に必要事項を入力後，必要書類を事務局に送付し，申請完了となります。
- \* 申請書類到着後，認定審査委員会で書類審査を行い，本会の会員情報に登録されているアドレス宛にメールで可否をお知らせします。
- \* 必要書類について，詳しくは下記「必要書類について」をご参照ください。

## 必要書類について

Web から必要事項を入力後，下記の書類提出が必要となります。押印等必要な対応後，必ず事務局へ送付して下さい。

- 1) 専門医新規認定申請書または提出必要書類送付書
- 2) 麻酔科専門医研修プログラム修了証または修了見込証明書(予定)
  - ・研修プログラムで所定の研修を終了していることを証明する書類になります。
  - 所属研修プログラムの基幹施設から発行いただく予定です。
  - 発行に際し，所属研修プログラムへ下記を提出いただきます。
    - i) 研修証明書のコピー
    - ii) 臨床実績報告書 必要分のコピー
      - ※600 症例と必要経験症例が含まれる期間分をご準備ください。
    - iii) 必要経験症例一覧表4年分のコピー

また，試験を受ける年の3月31日までに，研修プログラムを満3年修了し，申請条件を満たす場合は，麻酔科専門研修プログラム修了見込証明書を提出する。

3) 職務経歴書のコピー

- ・医師免許取得後から申請時現在に至る経歴の記載と、施設長の署名と公印の捺印が必要です。
- ・施設長が勤務当時と申請時現在で異なる場合は、申請時現在における当該施設の施設長の署名と公印の捺印で結構です。
- ・ご自身が施設長の場合は、自署の上、公印を捺印して下さい。

注)職務経歴書における公印の捺印は、全て施設の公印になります。

4) 麻酔経歴書のコピー

- ・医師免許取得後から申請時現在に至る経歴の記載と、麻酔科責任者の署名と捺印が必要です。
- ・麻酔科責任者が勤務当時と申請時現在で異なる場合は、申請時現在における当該施設の麻酔科責任者の署名と捺印で結構です。
- ・ご自身が麻酔科責任者の場合は、施設長の署名と捺印が必要です。

5) 臨床実績報告書 5年分のコピー(各年度、施設毎に作成したもの)

- ・申請する年の5年前の4月1日から申請する年の3月31日までの実績を記載して下さい。認定病院での手術室の麻酔管理業務を含まない場合は、別途認定病院の手術室で麻酔管理業務を行った1年分の臨床実績報告書をご提出下さい。
- ・臨床実績報告書には麻酔科責任者の署名が必要となります。ご自身が麻酔科責任者の場合は、自署して下さい。ただし、ご自身が麻酔科責任者であっても非常勤の場合は施設長の署名として下さい。  
ペインクリニックの場合は、1患者を1症例とします。  
集中治療の場合は、1患者の主な疾患の術後管理を1症例とします。

6) 専門医実績目録のコピー

- ・申請する年の5年前の4月1日から申請する年の3月31日までの実績を記載して下さい。
- ・学術集会への発表:抄録  
注)証明書類として抄録と学術集会の名称、回、会期が確認できるもの(抄録の表紙またはHP)を併せてご提出ください。
- ・学術出版物への発表:当該論文のコピーまたは別刷  
注)証明書類として論文のコピーの場合、出版物の名称、発行日、号が確認できるものを併せてご提出ください。

※実績目録の番号[1--(1), 1--(2), 2--(1), 2--(2), 3--(1), 3--(2)...]を右上に記載し、番号順に重ねて左上をホッチキスで留めて下さい。

## 7) 写真票

・Web 申請画面から写真データをアップロードください。

8) 申請する年の 5 年前の 4 月 1 日から申請する年の 3 月 31 日までに発行された「AHA-ACLS または AHA-PALS プロバイダーカードのコピー」、あるいは「当該 ITC が発行した AHA-PALS または AHA-PALS プロバイダーコース受講終了を証明するもの」

\* 上記指定期間内に発行されている証明は、有効期限が切れていても申請には有効とみなしません。

\* 申請書類の原本は、お手元に保管しておいて下さい。

\* 職務経歴・麻酔経歴がない期間や麻酔科関連業務に専従できない期間については、申請者の署名・捺印による理由書を添付して下さい。

理由書の様式は【麻酔科専門医新規(再認定)申請書類】の「理由書(サンプル)」を参照して下さい。

## 審査方法

①筆記試験, ②口頭試験, ③実技試験の 3 科目で審査します。

必要に応じて実地試験を行います。

## 審査料

審査料は受験科目ごとに 10,000 円です。Web 申請画面の案内に沿って審査料を払い込んで下さい。クレジット決済またはコンビニ決済が選択できます。なお、既納の審査料は、認定されなかった場合を含め、いかなる理由があっても返還いたしません。

## 提出方法

任意の封筒をお使いいただき、必ず、『日本専門医機構認定麻酔科専門医新規申請用』と朱書きの上、原則として簡易書留もしくは宅配便でご送付下さい。

審査に係る書類の不備について連絡を受けたにもかかわらず、指定期日までに提出が無い場合、書類審査を行わないことがあります。

## 登録手続

合格通知は本会の会員情報に登録されているアドレス宛にメールでお知らせします。

## 試験について

### 1. 試験日

原則毎年 10 月の第 1 金曜日, 土曜日, 日曜日に行いますが, 試験運営の都合上日程が前後す

ることがあります。ただし、2021年度の試験については、10月最終週または、11月の第1週または第2週で調整しております。

## 2. 受験科目の選択

- ・筆記試験、口頭試験および実技試験の受験科目は、自由に選択できます。
- ・同一年に複数科目の受験も可能です。ただし、科目ごとの受験日を自由に選択することはできません。

## 3. 合格科目の有効期限

合格科目の有効期限は、最初の合格科目の合格年から4年間です。

例えば、2017年の筆記試験に合格された方は、2021年までに口頭試験、実技試験の両方に合格しなければ、2017年の筆記試験の合格は無効になります。

## 4. 受験票、受験案内について

試験1ヶ月前頃に、書類審査に合格し受験資格を得た申請者には本会の会員情報に登録されているアドレス宛に受験案内と受験票の出力方法をメールでご連絡します。

メールアドレス、勤務先等を変更された際は、速やかに学会ホームページの会員サイトで修正して下さい。

## 5. 試験の出題範囲について

試験範囲は「教育ガイドライン第3版(試験範囲)」です。

## 提出・問い合わせ先

〒 650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目5番2号  
神戸キメックセンタービル3階  
公益社団法人 日本麻酔科学会認定審査委員会  
TEL 078-335-6078 FAX 078-306-5946